

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 22日

事業所名 放課後等デイサービス はなという

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・利用児童をグループ分けするなどして狭窄感がないよう心掛けている ・パーティション等を活用し環境調整している	
	2	職員の配置数は適切である	○				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			・成長に合わせた椅子を導入した。また調整用具を使用し、机上課題時の姿勢に配慮している	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・前回のアンケートより、職員の配慮がわかり易いように視覚化した。 ・活動の様子をしりたいとの要望に対し、HPへの掲載を開始した	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		・現在実施していないため、法人内の各事業所を含め、検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・毎月職員全体会議で研修を実施している	・webでの研修会などに積極的に参加できるようにしたい。
適切 な 支 援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			Vineland II、JSI-Rを必要に応じ実施している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・毎週土曜日、祝日、長期休業時ごとに行事を企画して実施している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			・支援目標を基に利用時間や（平日・休日）、体調に合わせて調整している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				

の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・毎日事前ミーティングを行い職員配置確認や利用児童の課題など全員で話し合っている		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		・送迎等で時間が遅くなる時は、翌日の打ち合わせ時に、振り返りを行っている		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○					
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○					
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○					
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○					
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている		○			・学校、事業所でのトラブルに対しての情報を共有を行うように努めていきたい	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	該当せず					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○			・相談支援員からの情報提供はあるが、直接保育園の担当者との情報共有が少ない。保育所への見学等をおこなう情報共有に努めたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○			・本年度は新型コロナウイルスのため、研修会への参加は出来なかった。今後はweb研修等に積極的に参加したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○					・地元の小学校のボランティアサークルと交流を行っているが、本年度は実施できなかったため、児発管・児童指導員が小学校に出向き、障害や福祉についての講義を行った。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○					
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○					
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○			・法人が運営している「ファミリーサークル」と連携しペアレントトレーニングに取り組んでいけるよう努めたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている			○		・支援内容については保護者と送迎で会った際に話すようにしている	・重要事項説明、運営規定などについても、定期的に説明が必要かを伺うように努めたい。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				・その場で答えることができるものであれば答え、難しければ相談し後日答えている。		

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		・新型コロナウイルスがおさまれば、保護者交流会を計画したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				・本年度より法人のホームページ（ブログ）にて、日頃の活動写真を掲載している
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				・個人に応じて声掛けの仕方なども考え支援している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている				○	法人で「運の裏」祭りを年1回実施していたが、本年度は中止となった。新型コロナウイルス終息後には企画したいと考えている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している				○	・事業所内に掲示している。 ・不定期ではあるが感染対策のお願い文書などを配布している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				2月・7月に火災避難訓練、災害避難訓練を実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				○	・指示書は貰っていないが、服薬が必要な場合いには、服薬依頼書を提出して頂いている
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○					